



副理事長 小中真道



NPO法人くくのち について

- ・ スタッフ数 12名
- ・ 2010年 3月 特定非営利活動法人 くくのち 設立
- ・ 2011年 4月 東原町地域活性化実行委員会・農業参入
- ・ 2012年 8月 インターンシップ開始
- ・ 2013年 1月 買い物支援開始
- ・ 2013年 10月 石川地域づくり賞 優秀賞（石川県）
- ・ 2014年 11月 あしたのまち・くらしづくり活動賞 内閣総理大臣賞
（公益財団法人あしたの日本を創る協会）
- ・ 2015年 6月 平成27年度ふるさと石川環境保全功労者知事表彰
- ・ 2015年 12月 環境省 「グッドライフアワード」実行委員会特別賞
- ・ 2018年 12月 北陸農政局「ディスカバー農山漁村(むら)の宝」選定



NPO法人くくのち について

住民主体の地域をデザインする

迫りくる高齢化、過疎化、少子化などにより、今後派生するであろう問題に直面する地域の人たちが、自らの手で「コミュニティ」をつくり、しっかり向き合う事で地域が抱える課題を認識し、改善案を考え行動できるような「持続可能なしくみ」を作ります。

くくのちは、地域の主人公はその地域に住む一人ひとりの住民で、自分たちの地域の未来は自分たちで描き、実現していくべきだと考えています。そこに多様な人材が関わり「持続可能なしくみ」づくりのお手伝いをしています。



教育資源

POINT1 地域住民が主体

POINT2 多様な主体との連携

地 域

経済資源

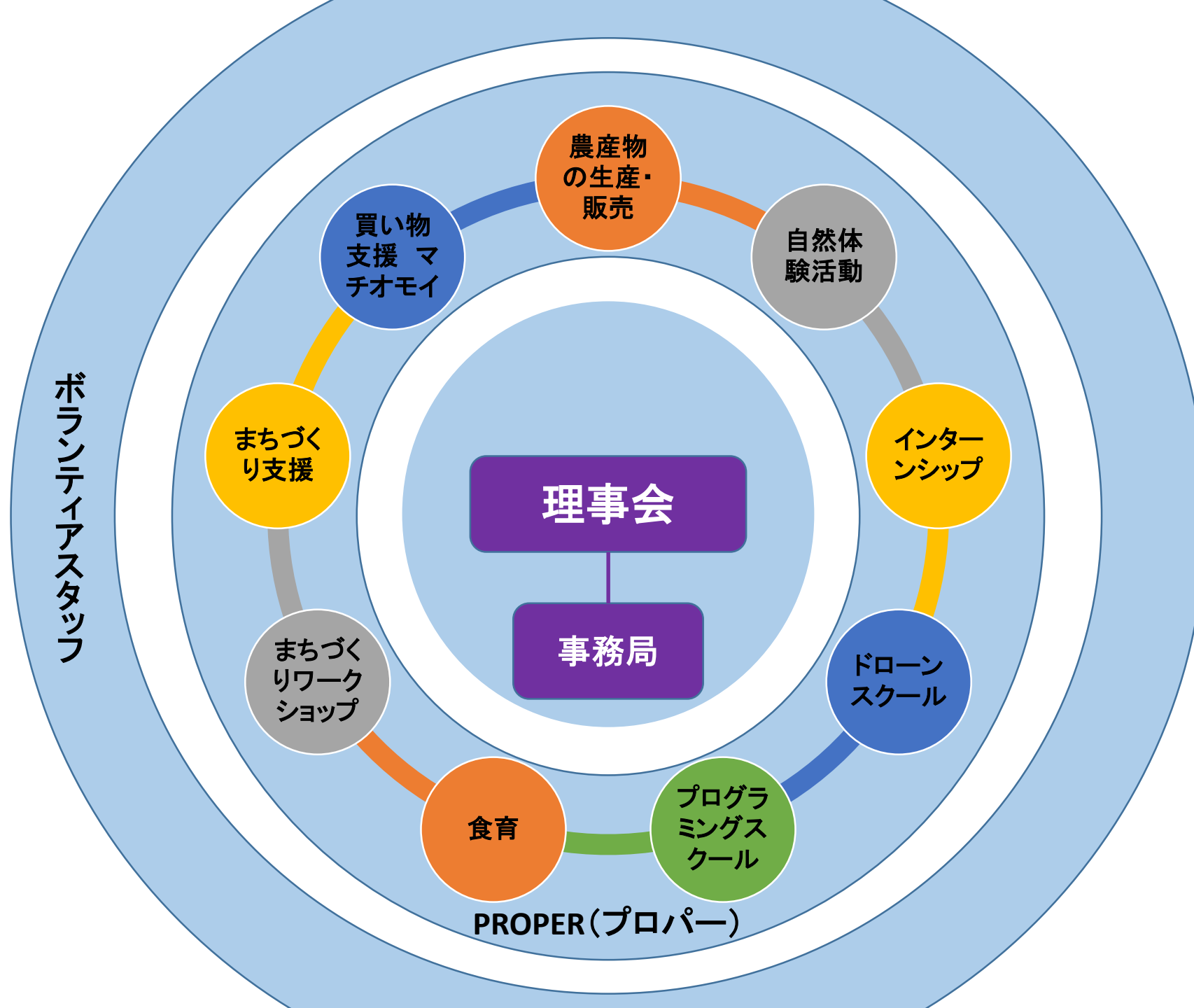
ツーリズム
資源

POINT3 人とモノの循環

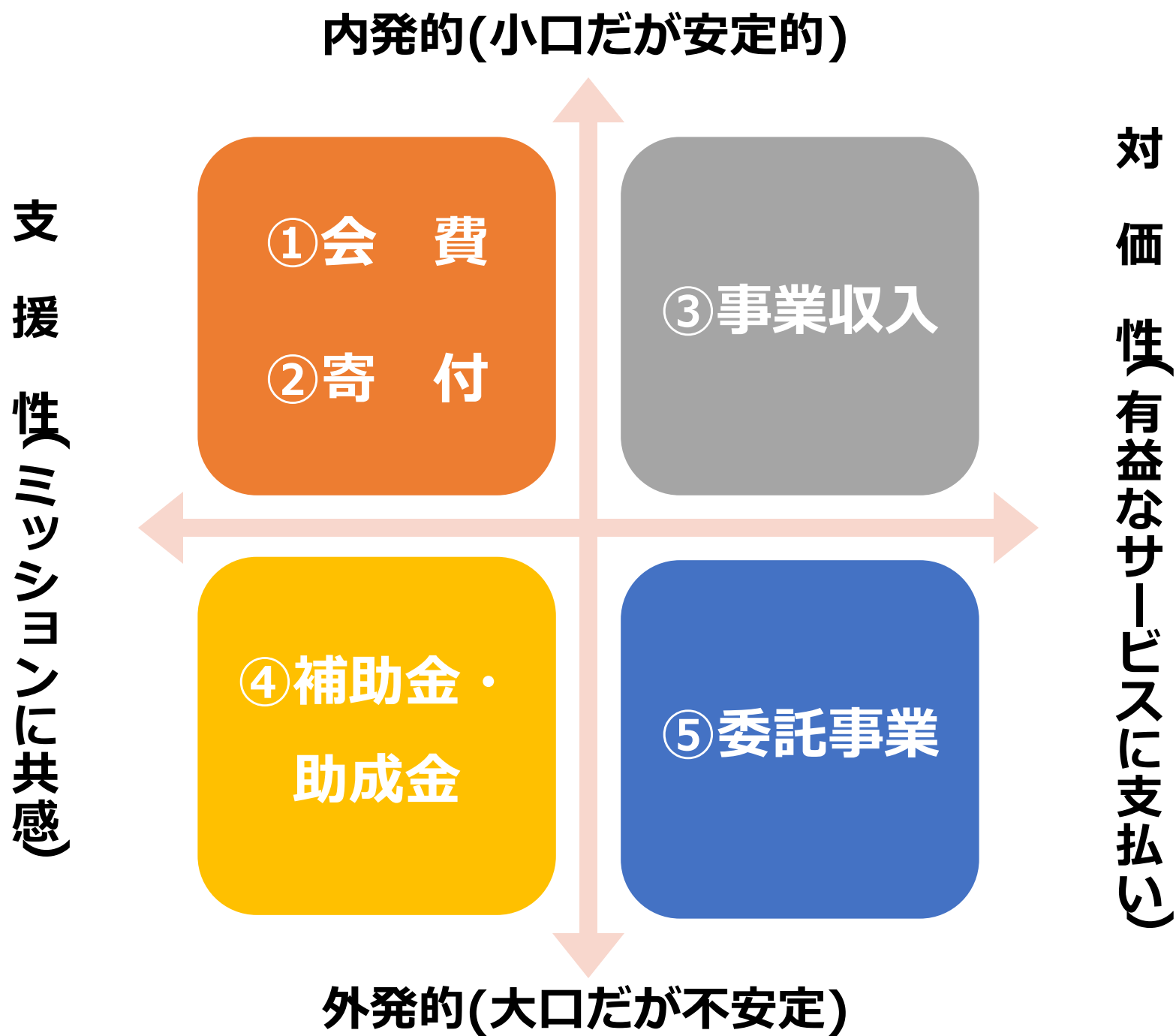
POINT4 内需外商

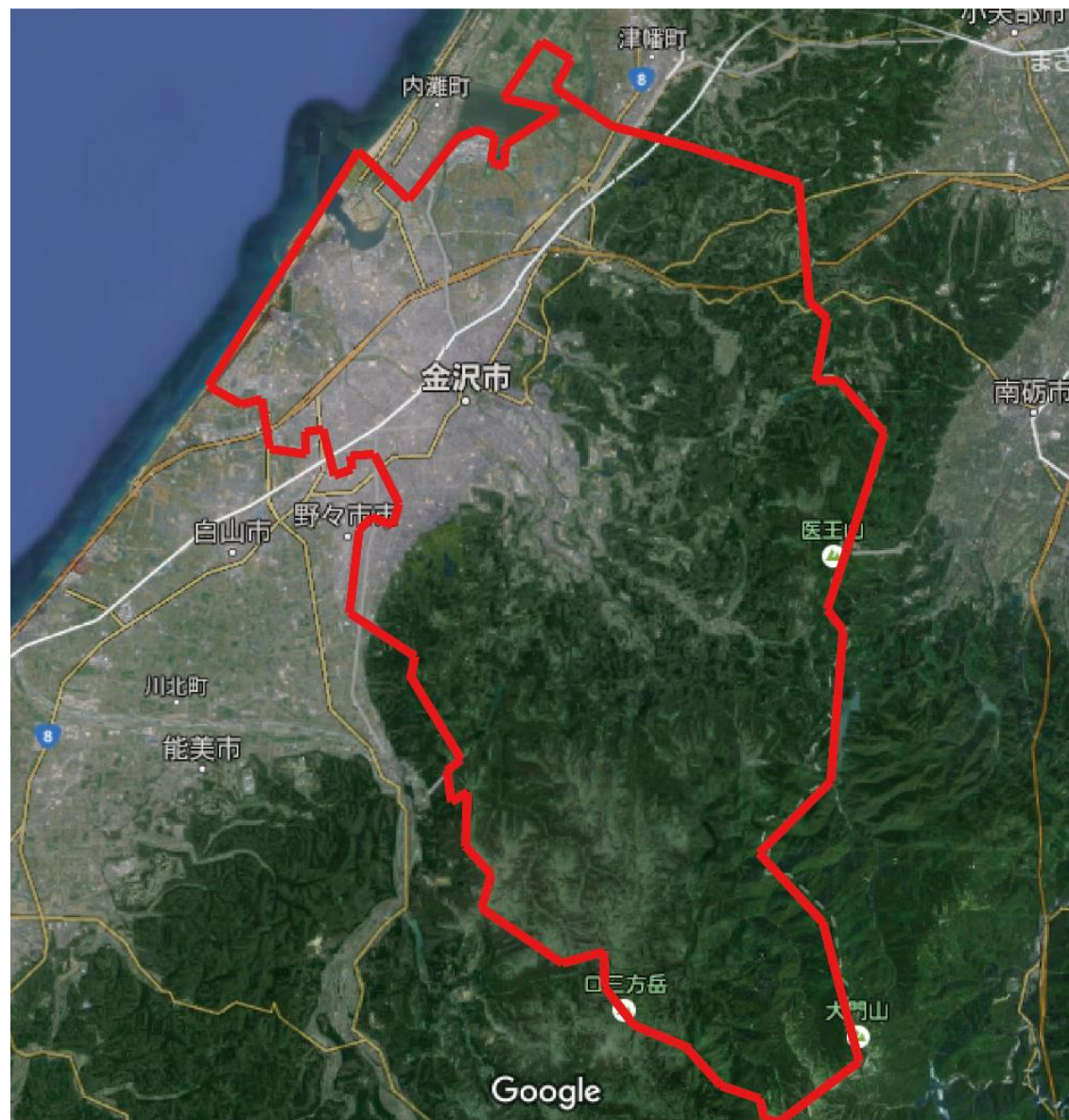
情報資源

構成









面積

468.64km²

人口

464,123人(令和元年7月1日現在)

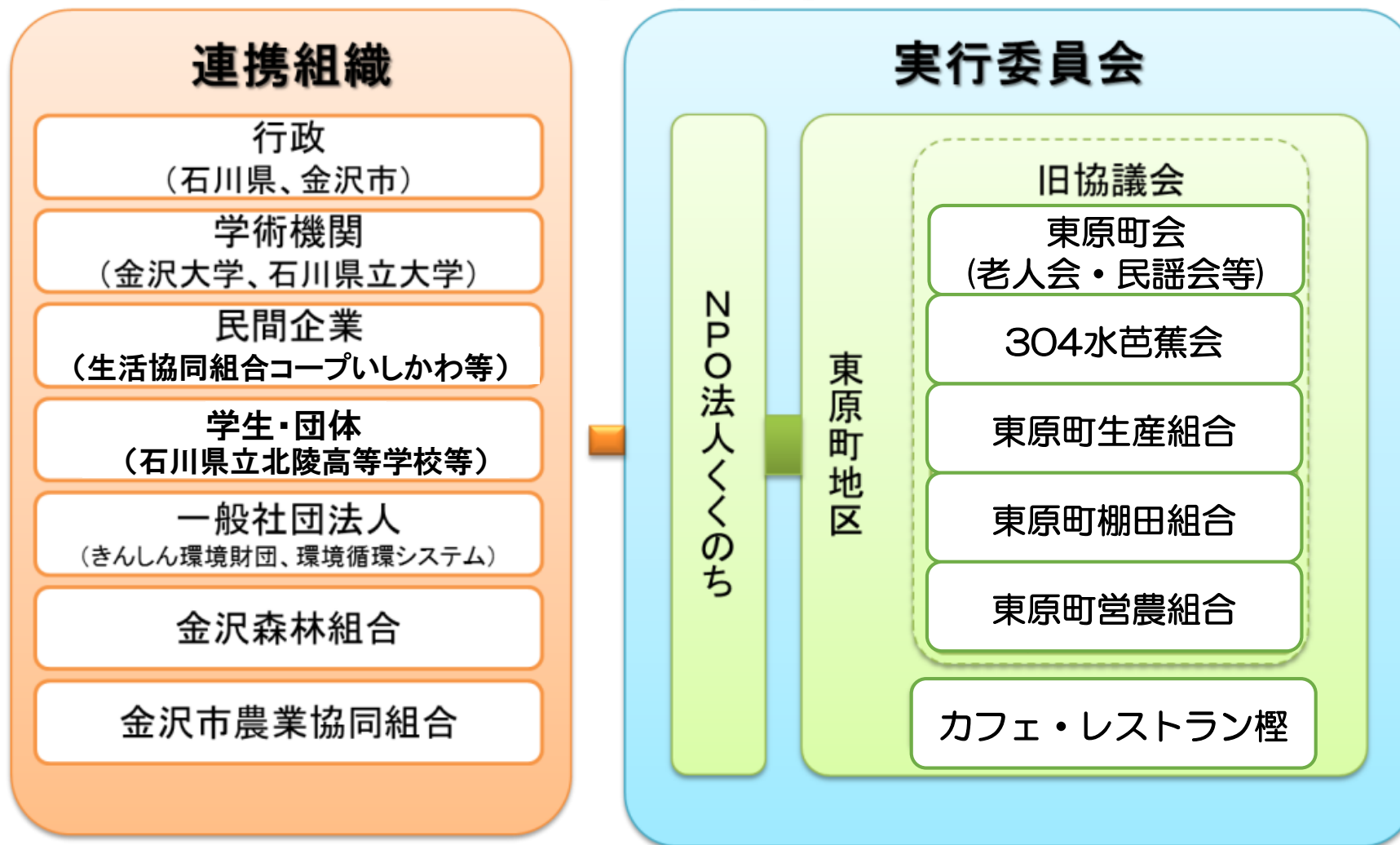
活動拠点について



活動拠点について



組織図



目標設定：40世帯を維持した自然と共存するまちづくり



- 農業体験
- 農産物の栽培
- 商品開発・販売
- 自然体験

体験・体感

1. 地域資源を活用した都市と農村の交流
2. 住環境の整備
3. 人材育成

地域課題解決の人材育成

- インターンシップ
- 地域コーディネータの育成
- 地域課題解決の起業支援
- まちづくりワークショップ

農・食

生活
支援

- 買い物支援
- 空き家調査・活用
- 移住支援

人材
育成

環境

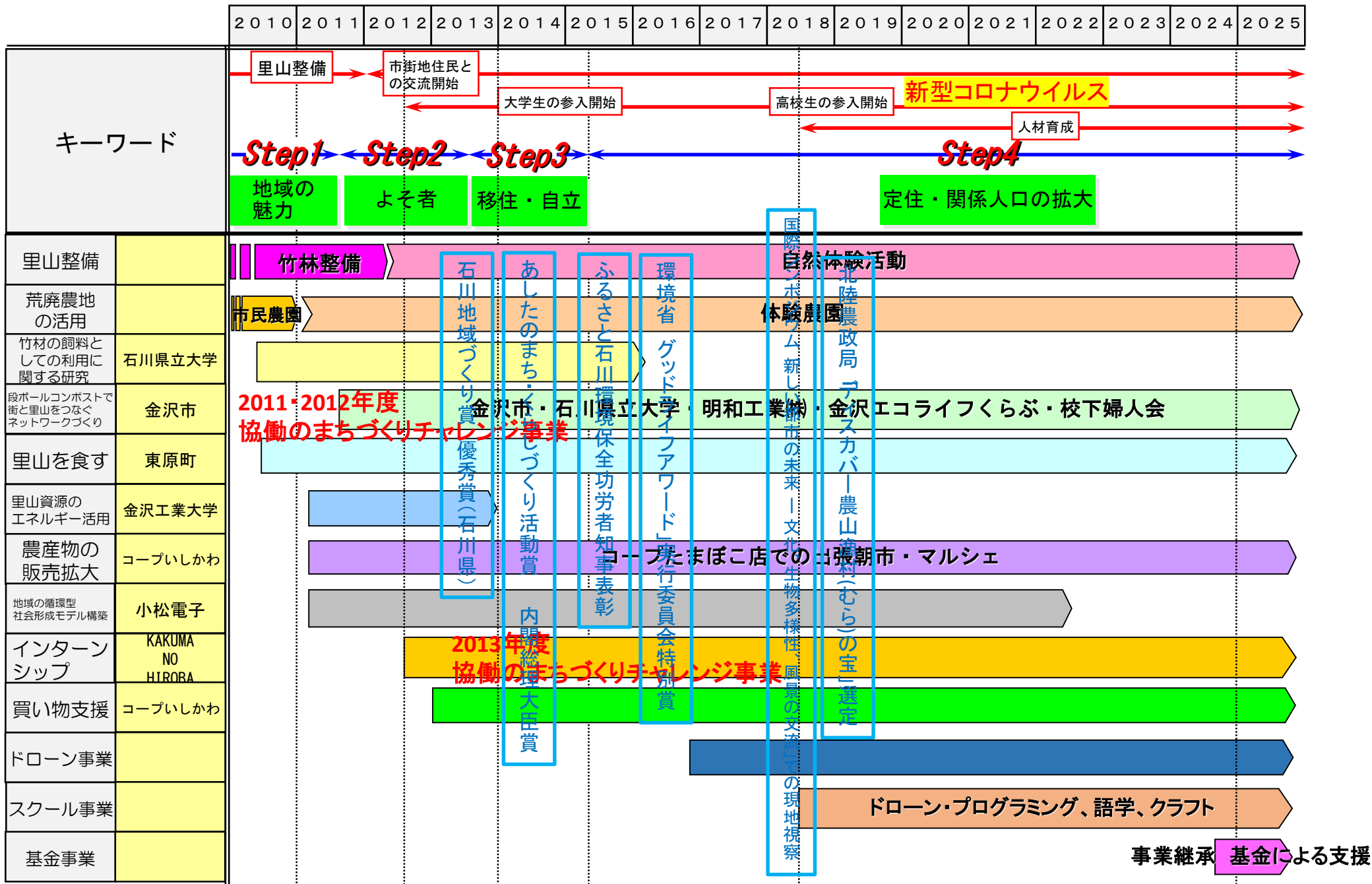
ESD

- ドローンフィールドの運営
- スクール事業
(ドローン・プログラミング、
語学、クラフト)

- 資源循環
- 農村環境
- 森林環境
- ダンボールコンポ
ストの製造・普及



ロードマップ





学校

親子

教育

若者

地域

融合

市民
団体

新しい
技術

体験

企業

化学反応

01

ステークホルダーの
資源や特性を活かせるか

02

責任と行動において
対等であるチームと
して取り組めるか

03

お金以外の価値



04

細くても長く共
に歩んでくれる
か

05

面白くおもえる
かどうか

**地域
コミュニティ**

**内部人材
(地域住民)**

**内発的
自律的**

**地域住民が
主役であり主体**



**地域づくり
地域デザイン**

外部人材

**外発的
補助的**

**外部人材とのパイプ役
適切なアドバイス
情報提供**



1

地域資源を活用した都市と農村の交流

- 自然体験活動
- 農産物・地域資源の販売
- 青少年育成



1

地域資源を活用した都市と農村の交流

地域

- 地域の活力向上
- 集落機能の維持・改善

青少年 育成

- 自己肯定感の向上
- コミュニケーションスキル、課題解決スキルの向上
- 優しさ・思いやり、連帯感・仲間意識、自立心、リーダーシップ、道徳観・正義感を養う



自然体験活動

タケノコ掘りと農業体験・きのこ植菌体験・ キャンプ・ウィンタースクール







東原ふれあいフェア ～里山を食す～



金沢産ダンボールコンポスト



竹林整備



籾 殻



竹：くん炭



籾殻：膨張軟化加工



製品化



普及講座



コンポスト
の作成

普及活動

街での
出張講座



地元産の基材
高齢者の雇用

くくのち、金沢エコライフくらぶ、
石川県立大学、地域住民、明和工業
株式会社、金沢市との連携・協力

（金沢市校下婦人会連絡協議会が
H24年度から参加）

余剰コンポストの受入
里山の魅力



地域間交流
農産物の販売

里山保全活動への参加

里山の整備





堆肥化
ベジタくるん

ダンボール
コンポストの製造・販売

(一社)
環境循環システム

生協

明和工業(株)



JA

販売

ベジタ
くるん

社会福祉
法人
やちぐさ会

技術

NPO法人
くくのち

販売

技術

金沢市

施策・調整

石川県立
大学
生物資源工学
研究所

金沢エコ
ライフくらぶ

生ごみの
減量化

金沢市校
下婦人会
連絡協議会

ダンボール
コンポスト普及講座

コンポストリ
ーダー養成





ダンボールコンポスト 1 個当たりの生ゴミ削減量について

- 市内の世帯数…**195,676世帯**（平成23年度～平成26年度の10/1時点での世帯数平均）
- 市内の燃やすごみ排出量…**85,211トン**（平成23年度～平成26年度平均）
- 燃やすごみのうち、生ゴミの割合…**38.7%**（平成25年度組成調査より）
- 燃やすごみのうち、生ゴミの年間排出量
 $85,211\text{トン} \times 38.7\% = \mathbf{32,977\text{トン}}$
- 一世帯一日当たりの生ゴミ排出量
 $32,977,000\text{kg} \div 195,676\text{世帯} \div 365\text{日} \times 1,000 = \mathbf{461.7\text{g}}$
うち、ダンボールコンポストで処理できる生ゴミの割合（不適物の割合を20%と推定した場合）
 $461.7\text{g} \times 80\% = 369.3\text{g} \rightarrow \mathbf{369\text{g}}$

ダンボールコンポスト 1 個当たりの生ゴミ削減量
 $369\text{g} \times 90\text{日（約 3 ヶ月）} = 33.2\text{kg} \rightarrow \text{約}33\text{kg}$



金沢産ダンボールコンポストの素の販売個数について

4年間で**3,516個**(平成23年9月～平成27年6月)

ダンボールコンポストによる生ゴミ削減量について

ダンボールコンポストによる生ゴミ削減量（合計）

$33\text{kg} \times 3,516\text{個} = 116,028\text{kg} \rightarrow \text{116トン}$

ダンボールコンポストによる生ゴミ削減量（年平均）

$116\text{トン} \div 4\text{年間} = 29\text{トン} \rightarrow \text{約30トン}$



東原町里山インターンシップ vol.1～11

同じ釜の飯を食って課題に挑め！

地域マップづくり編・商品開発編・空き家調査編・移住促進・見守り・地域資源の再発掘・知恵袋の調査・東原ふれあいフェア2.0・東原ふれあいフェア10周年記念





まちづくりで大切なこと

- 1 地域資源の把握（資源の種類・資源量・資源循環）
- 2 無いものは受け入れて、余剰に有るものは供給。
- 3 足を引っ張らず、手を引っ張る。背中を支える。
- 4 失敗を恐れず実行、そして改善点を考える。(PDCA)
- 5 新しい事業を早く廻して積極的に取り組む

(「観察 (Observe)」→「仮説構築 (Orient)」→「意思決定 (Decide)」→「実行 (Act)」 OODA)

- 6 「新たな活力」を生み出すには、一定の「新陳代謝」が必要
- 7 行動のないところには、人は来ない。
- 8 当事者意識
- 9 異なる主体や世代、性別
- 10 解決と創造が地域を成長させる。



- ①**地域**：自分たちの地域の未来は自分たちで描き、実現していくべき。自律的であって欲しい。
- ②**若者**：社会に向かってより高く羽ばたけるように多くのことを経験して知識を蓄えて欲しい。そして最適な選択ができるように能力を高めて欲しい。



ご清聴有難うございました

NPO法人 

Facebook



ホームページ



Instagram



Youtube



X

